

クマと向き合う

■クマの出没状況

昨年度の市内でのクマの目撃件数は49件で、うち32頭が捕獲されました。令和4年度の目撃件数が22件で捕獲頭数が1頭、令和3年度の目撃件数が22件で捕獲頭数が3頭だったことを見れば、昨年度のクマの目撃件数および捕獲頭数がいかに大きな数であったかがわかります。また、昨年9月、10月の2カ月間の捕獲頭数が全体の7割だったことから、これからの季節がクマと遭遇するもっとも危険な時期になります。一人ひとりがクマ被害にあわないよう十分に注意を払う必要があります。

■クマの目撃情報のおと

クマの目撃情報があると、市は防災あんしんメール等で情報を流し、さらに住宅地に近い場所で見撃された場合には防災行政無線で情報を発信しています。あわせて、県の「クマダス」や市HPにてグーグルマップ上にクマ目撃場所を位置情報として掲載するなど、多くの人が正確な情報を入手できるようにもしています。先般、ある市内の会合で、「クマの目撃情報はメールとかで知らされるが、その後がわからない。クマがどうなったかなどを知らせてもらうことはできないのか」といった質問を受けました。確かに多くの人が「その後はどうなったんだ?」と疑問を抱いているのは知っています。なのに、なぜその後について詳しく周知しないのか。それはいくつか理由があります。

その一つに目撃されたクマと捕獲されたクマが必ずしも同一とは限らないこと。二つ目に、ある場所で見撃されたクマが捕獲されてもすぐに別のクマがその場所に入り込んでできていることがあります。実際、昨年度、同じ場所のワナで連続して4頭のクマが捕獲されたりしています。つまり、1頭捕獲したからといって安心はできず、むしろ一度できたクマの道を別のクマたちが使って人の生活圏に近づいてきていることがわかります。ちなみに、市は捕獲用ワナの設置の有無についても公表をしていません。それは仕掛けられたワナに人が近づかないようにするためです。なぜなら臭いに敏感なクマは人の臭いのついたワナに近づかなくなるからであり、そして何よりも一般の人が興味本位で仕掛けたワナを見に行きクマに遭遇するのを防ぐためだからです。

■クマとの距離

「クマ鈴を鳴らすとクマが寄ってくる。だからクマ鈴はつけない方がいい」といった意見をネットなどで見聞きすることがあります。しかしながら、私たちができる対策は「クマに遭遇しないようにすること」です。そのためには音を鳴らして自分の居場所をクマに知らせることが大事です。ふつうのクマは警戒心が強く、臆病です。クマに遭遇しないための有効な手段の一つとして、まずはクマ鈴を携帯することです。

他方で、エサを求めて人里近くに降り



佐藤化学工業株式会社

出口で終わらないモノづくり『捨てる』から『再利用』する事業へ

当社は製造業が盛んなにかほ市のお客様を中心に、モノづくりに必要な各種材料の納品、そして各工程から排出される産廃の処理にワンストップで対応できる地域密着型企業です。特に可燃性廃液の回収と処理ができることが強みです。それらは産廃の一種であり、廃掃法に従い適正に処理しなければならないため、現場と事務が連携しながらお客様から回収した廃液の数量や在庫の管理、契約や法律関係の確認などの業務をしています。可燃性の廃液の処理には特殊な技術と設備が必要であり、取り扱うものの特性や処理方法などの知識も求められます。最初は難しく感じますが、必要な資格取得のサポートや丁寧に説明してくれる先輩と上司がいるのでとても働きやすいです。さらに評価制度を通して個々のパフォーマンスを評価してもらえるので、やりがいを感じます。

事務は土日祝日が休みで、現場はシフト制ですが、年間休日数はどちらも125日と、ワークライフバランスの取れた会社です。また、チームワーク重視でサポートし合える仲間がいる良好な職場環境です。

最近、一品100円で購入できる置き型社食も導入され、ランチに困らなくなりました。会社は、私たちのチャレンジしようという気持ちが生まれるような働きやすい体制を整えてくれています。それが一人一人のスキルアップの原動力となり、さらには会社としての発展へと繋がっています。皆さんも私たちと一緒に、成長し続ける佐藤化学工業株式会社で働きましょう！

企業情報

当社は1970年に溶剤の納品、シンナー廃液の回収・再生をメイン事業に、地元企業の専属工場として創業しました。創業後の大きな転換期となる2000年、廃棄物を『捨てる』から『再利用』へと事業シフトを行い、以前は焼却処分されていた可燃性廃液の再資源化を実現しました。廃棄物を未来の資源に！住みよいかほ市を未来へと引き継ぐべく、誰よりも環境に配慮できる企業として地域・社会へ貢献していきます。

▷所在地 にかほ市両前寺字井戸尻21番地1
▷事業内容 産業廃棄物の処理業(収集運搬、中間処理、リサイクル処理)、溶剤の販売・製造
▷従業員数 70人(うち男55人、女15人)
▷電話 0184-35-4351
▷FAX 0184-35-2721
▷Eメール info@satochem.jp



「にかほbiz」に掲載する事業所を募集しています！

若者や女性の採用に積極的な事業所やイチ押しの魅力などを持っている事業所を紹介します。申し込みは商工政策課(☎43-7600)まで！



にかほ一む

にかほ市移住・Uターン・お仕事支援ポータルサイト

にかほ市長
市川雄次

できたクマは、警戒心よりも収穫されなまま残る栗や柿、放置された残飯や家畜飼料などといった人里の食べ物の魅力に負けてしまうと言われています。だとすれば、私たちが取り組むべきもう一つの対策は、人里をクマのエサ場にしないこと、人里へのクマの進入路をなくすことだと思います。市は町内会が周辺の栗と柿の木を伐採するときにかかる費用の半分(上限2万円)を補助する制度を設けました。また、電気柵の設置への補助や狩猟免許の新規取得への補助を行っています。その他にも、クマの目撃情報等が多い場所の藪の刈払いも行っています。かつて、人々は日常生活の中で人と動物の境界をはっきりと分けてきました。近年、集落の人口が減り、それにもない手入れされないまま放置された農地が数多く見られるようになりました。その結果、人と動物の境界があいまいになってしまいました。まずはこの状態を改善していくことです。クマと人との距離をかつてのようなほどよいものに戻すことができるか、このことが今問われているのかもしれない。

